

かんしゃく

「どうしてかんしゃくを起こすの？」

1歳を過ぎると様々な感情が出てきて、後半になると言葉も少しずつ出てきます。しかし、言葉がまだ上手につかえずうまく自分の思いを伝えきれないと、かんしゃくという形になって現れます。

2歳になると《**自我が芽生え、自己主張も強く**》なり、何でも自分でやろうと挑戦しますが、思い通りにいかずかんしゃくがパワーアップする事もあります。

でも、子供がかんしゃくを起こすのはこの時期に見られる成長のひとつです。子供の成長の為にはとても大切な一歩なのです。

《さっきまで機嫌よく遊んでいたのに急に泣いたり暴れたり…》



こんな時は…



見守っておくことと 助けてあげることを見極める

かんしゃくを起こしてすぐに声をかけると余計に助長されてしまうこともあります。このような時は少し見守ることもひとつの方法です。原因が分かるときは、さりげなく手助けをすることも良いと思います

気分転換や 気持ちを代弁してあげる

その場を離れて気分転換する事や、言葉で表現できないもどかしさを大人が代弁してあげることで気持ちが落ち着いてくるときもあります。「～したかったのね」などと、子供の思いを確認してあげると、自分の気持ちを理解してくれたと安心してくれると思います。

かんしゃくが続くと「また!!」と思ってしまうこともあると思います。

この時期は**自信と自尊心が育つ大切な時期**でもあります。

「頑張った時」「出来た時」など、最後は褒めることも忘れずに・・・
お子さんによって違いますが、3歳から4歳くらいには落ち着くでしょう。

